

サポート通信

平成30年2月26日 発行
広島市立広島特別支援学校

No. 18



特別支援教育センター校からの情報発信・ネットワーク

■ サポートセンターだより

最新情報です！ついに紙ベースの教科書とデジタル教科書とを併用することが制度上可能となります。これまで同様、目の前にいる子どもの学び方を丁寧にとらえ、どんな支援を必要としているのか見極めていきたいですね。この日を待たず、必要な子どもにはルビ振り、分かち書き、読み上げ、音声教科書やルビ付きテストの利用…などなど、今できる支援を確実に積み上げていきたいものです。

一人一人に合った方法で、自分らしく学べることを願って…

東書Eネット～先生のための教育資料データベース～より

2018年1月22日

全教育課程で使用可に＝デジタル教科書、障害児ら—文科省



文部科学省は、タブレット端末などを活用した「デジタル教科書」に関し、視覚障害などで通常の学習が困難な小中高校生は、教育課程の全てで使用できるようにする方針を固めた。今通常国会に、学校教育法など関連法の改正案を提出。2019年4月の施行を目指す。

文科省は、紙の教科書と同一の内容をデジタル化したデジタル教科書を、次期学習指導要領の全面実施が始まる20年度に本格導入する方針。現行法では、小中高校では紙の教科書を使わなければならないが、法改正でデジタルとの併用を認める。

さらに、視覚障害や発達障害などで通常の紙の教科書を使った学習が困難な児童生徒で、文字の拡大や音声の読み上げなどの機能によって負担を軽減させる必要がある場合は、紙の教科書を併用しながら、教育課程の全てでデジタル教科書を使えるようにする。

特別支援学校などで使用が認められている教科書以外の図書についても、デジタル化した教材を使用可能にする。

一般の児童生徒は、紙の教科書を主に使用しながら、教育課程の一部を学ぶ際、デジタル教科書で代用できる形になる。

また、紙の教科書と同様、公表されている著作物を権利者の許諾を得ずに掲載することを認め、文化庁長官が定める額の補償金を著作権者に支払うことを教科書会社に義務付ける著作権法改正案も提出する。

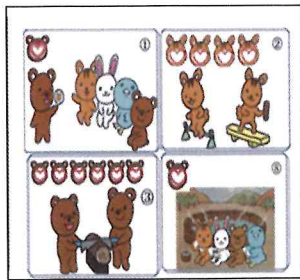
高校の農業や工業などの一部や特別支援学校用で需要数が少なく、教科書会社が教科書を発行しない場合、文科省が著作・編集する教科書を使っているが、これと同一内容のデジタル教科書も文科省が出版権を設定できるようにする。



■ 劇発表の取組を行いました！

小学部2年生は、3学期に「発表会」という行事（低学年の行事として）を設けています。今年は、「つながる」ことをテーマにした「もりのおふろ」という絵本を題材にして劇発表に取り組みました。劇の具体的な内容を考える上で大切にすることは、児童一人一人の頑張りや集団としての成長を表現したいということでした。学年で検討を重ね、発表するメインの活動として決定したのは、運動（ゴム跳びや平均台渡り）、道具を使う操作、ダンス、楽器演奏の四つでした。これらの活動を絵本のストーリーの中に入れ込み、物語をつなげていく方法で劇を作りました。次に、子どもたちの取組を考える上で大切にすることは、「やってみたいという意欲を引き出し、分かるという見通しをもち、できたという自信を付ける」ことでした。そこで、具体的な手立ての中軸に次の4点を掲げて、取り組みました。

- 魅力的な衣装：役（4種の動物）ごとに、頭巾とズボンの衣装（図①）を作り、個々にフィットするような手直しを行いました。意欲を引き出す上で、衣装の効果は大きく、衣装は、初回から用意するようにしました。衣装を付けるとみんな瞳が輝きます。また衣装を着て変身することは、自分に向き合うことに抵抗のでやすい児童を、少し楽にするような効用もあるようでした。
 - 分かりやすい手順表：どの場面にもどの役の誰が出るのかが分かるようなイラストと顔写真入りの手順表（図②）を個々の実態に応じたかたち（めくり式か1枚ものかなど）で一人ずつに用意しました。顔写真が入っているところがポイントで、自分が出てない場面で、友達を応援することができるようになりました。
 - 使いやすい道具：高さを変えられるゴム飛び台、運びやすく切りとりやすいマジックテープ付き布製丸太（写真①）、持ち手を傾げることでコップからビー玉が落ち、美しい音を奏でるビー玉木琴（写真②）などの子どもの実態に応じた扱いやすい道具を用意することで、一人一人ができる活動を作ることができました。
 - 自信を重ねる練習：活動への見通しをもたせるために、最初から最後まで止まらずに行う通し練習を基本としましたが、子どもの自信の様子をみながら、小さい集団でのグループ練習を通し練習の前に入れることもありました。また一人一人がうまくできたときの練習ビデオを編集でつなぎ、それを鑑賞する時間を設け、自分の頑張りや友達の頑張りを印象付けるようにしました。
- 「もりのおふろ」は、みんなであったかいお風呂に入って、「元気がでるね！」と歌って幕を閉じません。子どもたちは、発表会で保護者の方や友達から頑張ったことを称賛されてとても嬉しそうでした。自分に自信をもち、みんなで取り組んだことで大きな達成感を得た元気の出る取組となりました。ここで得た自信を3年生に向かう力につなげていきたいと考えています。



図①衣装イラスト 図②手順表（顔写真が入ります）

写真①布製丸太

写真②ビー玉木琴

■ 児童の実態に合わせたタブレット端末の有効活用

毎日、タブレット端末を使用している学級の実践を紹介いたします。

○ 朝の会での取組

A児は、時間割のカードを見てもあまり反応がなく、授業とカードが結びついていない様子でした。そこで、カードと一緒にタブレット端末を提示して授業の様子や音楽などを流すようにすると、興味深そうにタブレット端末を見ていました。毎日取り組むことで、カードと映像が少しずつ結びついていき、今では、楽しい授業を発表することができるようになりました。



タブレットを利用した取組の様子

○ 振り返りに

国語や体育などの授業中、活動をカメラで撮るようにしています。授業の終わりに映像を流したり、止めたりしながら振り返りをすると、よくできた場面や反省点をじっくりと確かめることができます。自分の姿を客観的に観て褒めると、「また頑張るぞ！」と次の授業に対する意欲を高めることができますように感じます。

○ 平仮名の学習

次に、学習アプリ「ぐーびーともじあそび」を紹介いたします。

このアプリの特徴は、平仮名の学習アプリで、「あいうえおゲーム」「そらとびゲーム」「しりとりゲーム」「もじたたきゲーム」「ことばゲーム」「なぞりがきゲーム」などたくさんコースがあり、あ行だけなど指定することもでき、苦手な文字がある場合も集中的に覚えることができます。キャラクターと一緒に楽しく音に合わせてなぞり書きしたり、聞き取った文字を選んだり、多様な学び方ができて、平仮名の学習をより深化させることもできます。



タブレット端末は、いろいろなアプリを使うことができ、また手軽に撮影して再生することもできるので、児童生徒の障害や特性に応じて、有効に活用することができます。視覚障害・弱視のある児童生徒に対しては聴覚や触覚など代替手段を活用したり、聴覚障害では保有する聴覚を活用しつつ視覚を活用したり、学習障害では、文章の読み上げ機能やふりがなを付ける機能を使うなど考えられます。ICTは特別な支援を必要とする子どもたちにとって、多くのことを手助けしてくれるツールとなると感じています。

■ おすすめ書籍



「障害の重い子どもの指導 Q&A」

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会編著
シアース教育新社 本体 2500円

肢体不自由をもつ重度重複障害の児童生徒への指導について、詳しく説明されています。書かれている主要項目として、自立活動の各領域の指導方法や子どもとの関わり方、支援機器、教育課程の編成、進路指導など他分野に渡っています。特に自立活動の各領域の指導方法については約100ページ、59項目別に書かれており、充実した内容となっています。重度重複障害から単一の知的障害など多岐に渡る障害の実態のある児童生徒の指導に関して、活用できる点がたくさんあると思われます。また本の形式は教科書形式ではなく、Q&A方式となっており、項目も『自立活動の評価はどのようにして行ったらよいですか』、『自立活動を主とする教育課程では、キャリア教育をどのように位置づけて実施したらよいですか』など普段の教員生活の中でよく考える疑問に応じた形で書かれており、読みやすくなっています。項目の内容の書き方も、具体的事例だけでなく、その背景の理論もコンパクトにまとめられています。「なぜその指導を行うのか」、「なぜ必要なのか」の疑問に対しても応えてくれると思います。若手の先生からベテランの先生まで読み手を選ばず、読み応えがある内容だと思います。

■ 編集後記

この冬は何と寒いことでしょう！力が入って肩も凝るほどに…温暖化で暖冬に慣れているからでしょうか、余計に寒く感じます。さて、今年度も終わりに近づいています。サポート通信の御愛読ありがとうございました。来年度も本校地域支援部の総力を結集して（ちょっと大げさですね…）、取組の成果や有益な情報をお届けしたいと思います。御意見や御感想は下記で受け付けておりますのでよろしくお願いいたします。

■ 記事に関するお問い合わせ

広島市立広島特別支援学校
〒734-0013 広島市南区出島四丁目1番1号
TEL (082) 250-7101 FAX (082) 250-7102
担当 特別支援教育コーディネーター 林 美香子
MAIL: yougo-s@e.city.hiroshima.jp

